



令和6年産

きらみずき通信 第2号

令和6年6月28日

JA 東びわこ営農振興課

(TEL 0749-28-7851)

湖東農業農村振興事務所農産普及課

(TEL 0749-27-2228)

穂肥は窒素成分6kg/10aを基準に 2回に分けて施用しましょう！ 1回目は7月10日頃(5月10日植の場合)が適期です！

1 湖東地域の「きらみずき」生育状況

- ・ 5月下旬～6月上旬は低温で推移したため、生育はやや遅れていましたが、6月中旬の高温で生育が進み、分けつが増加しています。
- ・ 地力が高いほ場では生育が旺盛となっている一方、緑肥跡のほ場などでは、ガスわきにより生育が抑制され、葉が黄化しているところもあります。



6月19日時点の生育(甲良町)

【6月19日 生育調査結果】

| ほ場の場所 | 前作 | 移植日 | 栽植密度 (株/坪) | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 葉色 (SPAD値) |
|-------|----|------|---------------|------------|---------------------------|---------------|
| 彦根 | 水稻 | 5/15 | 60 | 35.4 | 262 | 37.8 |
| 稻枝 | 大豆 | 5/10 | 57 | 41.3 | 559 | 41.9 |
| 多賀 | 水稻 | 5/15 | 63 | 33.7 | 449 | 42.1 |
| 甲良 | 水稻 | 5/18 | 45 | 35.8 | 316 | 38.6 |
| 愛荘 | 水稻 | 5/20 | 57 | 37.3 | 304 | 38.9 |

- ・ 中干しがまだのほ場や、還元障害が見られるほ場では、速やかに干しましょう。
- ・ ただし、遅くとも7月上旬には中干しを終えましょう。

葉いもちの発生がないか確認してください！

- 「きらみずき」は殺菌剤が使用できません！
- ケイ酸質肥料の施用や、畦畔除草で風通しを良くするなど、蔓延しにくい環境を作りましょう。
- 葉いもちの発生が多い場合は、穂肥の施用を1週間程度遅らせ、葉色が濃くなりすぎないようにしましょう。



葉いもち

2 穂肥の施用

- 穂肥は、窒素成分6kg/10a を基準に2回に分けましょう！
- 高温下でも登熟後半まで栄養状態を維持するため、減肥せず基準量を施用しましょう！

- ・ 有機肥料は肥効が発現するまで一定の期間を要しますので、施用が遅れないように注意が必要です。
- ・ 穂肥1回目は幼穂形成期(幼穂長 1 mm)の 1 週間前頃、2回目は 1 回目の2週間後に施用します。

穂肥時期と施用量の目安

| 田植日 | 幼穂形成期 予測 | 穂肥 1回目 | 穂肥 2回目 | 1回あたりの施用量 (/10a) |
|-------|-------------|--------|--------|--|
| | | 時期 | 時期 | |
| 5月10日 | 7月17日頃 | 7月10日頃 | 7月24日頃 | 有機質肥料で窒素成分3kg (例)有機アグレット727を 使用する場合 40~45kg |
| 5月20日 | 7月21日頃 | 7月14日頃 | 7月28日頃 | |

※今後の天候や地域によって遅速する可能性があります。

3 斑点米カメムシ対策

- けい畔の草刈りは、①イネの出穂期2~3週間前(7月下旬)と、②出穂期(8月10~15日頃)の2回が効果的です！

- ・ ほ場周辺のイネ科雑草は、斑点米カメムシの誘因源となります。イネの出穂前後の時期は、イネ科雑草の穂を出させない管理を行いましょう。
- ・ 環境保全型農業直接支払交付金の「⑧IPMの実践、畦畔の人手除草および長期中干し」に取り組まれている場合は、けい畔の除草剤は使用できませんのでご注意ください。草刈機などにより概ね4回以上行う必要があります。

農作業中の熱中症に注意！！

- 7~8月は、農作業中の熱中症による死亡者数が特に増える時期です。
- 気温が高い時間帯の作業を避け、こまめな水分・塩分補給を行いましょう。
- なるべく2人以上で作業を行い、熱中症対策グッズを積極的に活用しましょう！

